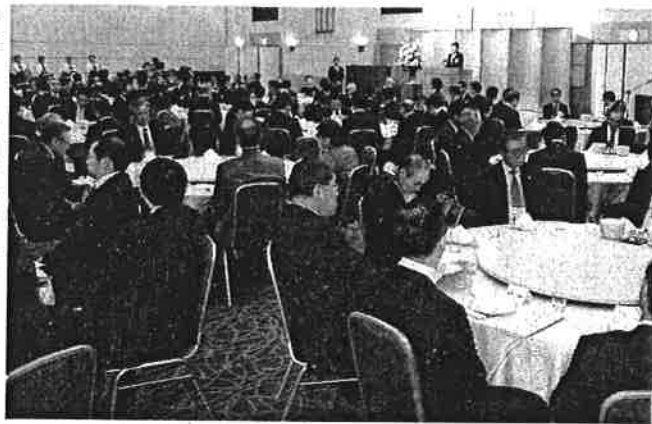


## 一層の組織発展を願う

道設備設計事務所協会が新年交礼会



参加者が新年の繁栄を願った

協力を求めた。

来賓あいさつでは北海道開発局の沢永好章営繕部長が、防災機能の強化、建物の長寿命化を進める中で、一層の協力を呼び掛けた。道建設部の長浜光弘建築局長は「2018年度も本年度と同程度の設計委託を予想している。北海道命名150周年を迎える中、協力を」とあいさつ。札幌市の大場里樹都市局長は、まちづくりアクションプランを進めるため協力を求めた。

この後、北海道建築士事務所協会の庄司雅美会長が乾杯の発声をし、関係者がことしの一層の繁栄を願った。

北海道設備設計事務所協会は25日、ポールスタ―札幌で新年交礼会を開き、参加者220人が協会のさらなる発展を願った。

最初に種市由夫会長が昨年4月から非住宅2000平方メートル以上で省エネ基準適合性判定業務の規

制措置施行などで協会員の役割が大きくなってきたこととして「設備業務に対応する環境が整うことで、次世代の人材確保につながり、継承していくことで設備技術者の必要性が理解され、社会貢献につながっていくと思ふ」として今後の活動に